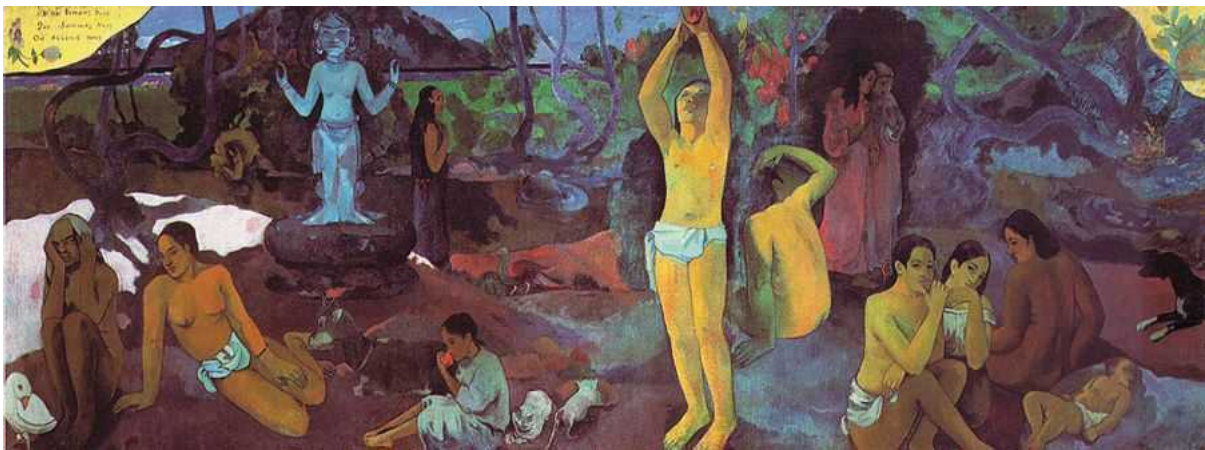


ISSN 1880-1900

宗教学研究室紀要

THE ANNUAL REPORT ON PHILOSOPHY OF RELIGION



2008 vol.5

京都大学文学研究科宗教学専修 編

オンライン刊行物 <http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/religion/>

ジャン・グレーシュ氏の二つの講演について	杉村靖彦 (3)
為しうる人間と承認(再認)の理念 ポール・リクールを講えて	ジャン・グレーシュ(杉村靖彦訳) (5)
一体なぜ なぜ なのか ハイデガーとキリスト教神秘主義	ジャン・グレーシュ(杉村靖彦訳) (29)
ミシェル・アンリにおける生 の 世界	古荘匡義 (48)
自由の不確定な志向性 「動的図式」と前期ベルクソン自由論	笠木 丈 (68)
宗教学研究室紀要編集委員会の設置について	氣多雅子 (90)

宗教学研究室紀要編集委員会の設置

宗教学研究室紀要も Vol. 5 を数えることになりました。これまで掲載論文の査読は宗教学研究室のスタッフである氣多雅子と杉村靖彦だけで行ってきましたが、Vol.5 から、秋富克哉氏（京都工芸繊維大学大学院准教授）を加えて編集委員会を設置し、審査にあたっております。より客観的で公正な審査を行い、紀要をいっそう充実した内容にしていくよう努力してまいります。（氣多記）

第5号執筆者紹介

杉村靖彦	京都大学文学研究科	准教授
ジャン・グレーシュ	パリ・カトリック大学	名誉教授
古莊匡義	京都大学文学研究科	博士課程
笠木丈	京都大学文学研究科	博士課程

***** 編集後記 *****

本号より紀要の編集方針を改めたこともあり、例年よりも研究室紀要の発行が遅れてしまいました。ただ、今号から紀要編集委員会に秋富先生が加われ、投稿論文の審査がこれまで以上に厳しく、そして教育的になりました。審査における先生のご指摘は論文の急所を鋭く突いたもので、示唆に富むものでした。この場を借りて、秋富先生に感謝の念を表したいと思います。このような改革によって、本紀要を一層充実させていく所存ですので、宜しく願いいたします。（古莊記）

宗教学研究室紀要 第5号 （京都大学 文学研究科 宗教学研究室紀要 編）

2008年12月9日発行

Articles

Remarques préliminaires sur deux conférences de M. Jean Greisch

SUGIMURA Yasuhiko 3

L'homme capable et l'idée de reconnaissance. Hommage à Paul Ricœur

Jean Greisch 5

« Pourquoi donc le pourquoi ? ». Heidegger et la mystique chrétienne

Jean Greisch 29

Le concept du monde-de-la-vie chez Michel Henry

FURUSO Tadayoshi 48

L'intentionnalité indéterminée de la liberté

le « schéma dynamique » et la notion de la liberté dans la première période de Bergson

KASAGI Jo 68